

(学校用)

様式 A-1

平成 28 年 6 月 17 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 富山県立富山高等学校
2. 講師氏名: Ms. Flavia Fulco
3. 同行者氏名: _____
4. 実施日時: 平成 28 年 6 月 15 日 (水) 14 : 20 ~ 16 : 10
5. 参加生徒: __年生 __人、 2年生 24人、 __年生 __人 (合計 __人)
備考: (例: 理数科の生徒) 人文社会科学科
6. 講演題目: (英文) Remembering and forgetting: building collective identity
(和文) 記憶に残すもの、残さないもの—集団としてのアイデンティティの確立
7. 講演概要:
私たちのアイデンティティはこれまでの生き立ちや経験、人との関わりなどを通して作られていくものであり、私たちの記憶はそれに大きな影響を与えるものである。東日本震災で多くの大切な人やものを失った人たちは自分自身の、あるいはコミュニティとしてのアイデンティティをどのように維持していけばよいのか。被災地に足を運び、現在の状況を自分の目で見て、また地域の方との交流を通して、大きな被害に遭った人たちがどのようなことを考えながら生活しているかということ、そして東北地方がどのように復興しようとしているかということを調査し、地域社会の再生について研究している。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 20 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
外国人研究者本人による日本語説明
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
プリント(研究の概要と講義のキーワード)
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: